

現代宗教研究

第42号

- 巻頭言……………田澤元泰
- 平成十七年度法華経・日蓮聖人・日蓮教団論研究セミナー（公開講座）
お寺は生き残れるか—経済学の視点からみる存在意義と将来の展望—……………中島隆信
- 研究ノート
- 三好達治の詩からみた戦争責任と平和憲法……………田澤元泰
『南海寄帰内法伝』にみる医療観—義浄三蔵がみたナーランダ僧院の医療—……………影山教俊
『立正安国論』における戒律思想……………小瀬修達
『何でもありの現代社会』—寺院・僧侶の役割を取り戻すには—……………川名湛忍
宗門と国家Ⅱ—田中智学と帝国日本—……………野村佳正
日蓮宗の戦前大陸・樺太での布教について……………坂輪宣政
- 研究・調査プロジェクト報告
- 教団・教化プロジェクト
- 過疎地寺院対策—考察……………原 顕彰
- 現代社会プロジェクト
- 『不都合な真実』から見えてくるもの—地球温暖化問題の問題を考える—……………梅森寛誠
宗教的生命倫理の六原則についての解説……………牟田口義隆
- 調査報告
- 妙満寺伝承塚原三昧堂跡と日蓮正宗建立塚原跡碑の調査報告……………小瀬修達
- 第8回日蓮宗化学研究発表大会
- 宗教的情操を獲得する過程について—唱題行による意識変容の研究から—……………影山教俊
宗祖の母・梅菊「畠山重忠有縁説」の一考察……………石川修道
念（今の心の在り方）を考える……………竜澤泰孝
仏教学と教化—研究者と宗教者—……………大乘文晴
「千の風になって」の教化学的考察—そのスピリチュアリズム的側面……………伊藤立教
『六卷抄』の構造と問題点(五)—「依義判文抄」を通して(その一)—……………早坂鳳城
大地動乱の時代を迎えて、原発との「共存」を強いられる私たちは……………梅森寛誠
日蓮聖人の御遺文と地球温暖化……………三谷祥祁
宗立学寮に関する覚え書き……………菅野龍清
〈但行礼拝〉考……………高佐宣長
納得できる平和運動とは何か？—立正平和運動の再生に向けて—……………三好龍孝
- ミニ講演
- 宗教者が平和運動を行う意味—グローバル化と善悪の不透明化—……………宮台真司
宮崎県の富士門流について……………黒木報源
- 第40回中央教化研究会議報告
- 講演『正しさ』の不可能性と現代宗教—現代における宗教の存在意義と宗教者の役割—……………宮台真司
- 久住謙是師を偲ぶ……………伊藤立教

平成20年3月

日蓮宗現代宗教研究所

現代宗教研究

第42号

平成20年 3月

日蓮宗現代宗教研究所